



平成30年3月15日

各 位

会社名 株式会社イワキ  
代表者名 代表取締役社長 藤中 茂  
(コード番号：6237 東証第二部)  
問合せ先 専務取締役 松田 健二  
(TEL 代表 03-3254-2931)

通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）  
並びに特別損失等の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、平成29年11月10日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」にて公表しました通期業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。また、平成30年3月期の連結決算において、下記のとおり特別損失及び営業費用を計上いたしますのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成29年11月10日発表)	26,838	1,786	2,290	1,735	231円90銭
今回修正予想 (B)	28,141	2,062	2,691	2,091	279円47銭
増減額 (B-A)	1,303	275	401	355	
増減率 (%)	4.9	15.4	17.5	20.5	
ご参考：前期実績 (平成29年3月期)	25,146	1,465	2,136	1,690	225円93銭

(2) 平成30年3月期通期連結業績予想の修正の理由

平成30年3月期通期連結業績予想につきましては、半導体・液晶市場および表面処理装置市場向け売上高は引き続き好調が見込まれ、加えて主力の水処理市場向けも堅調な売上高が見込まれること等により、前回

発表予想を1,303百万円（4.9%）上回り、また増収効果等により、営業利益以降の段階利益も予想を上回る見通しとなりました。加えて、アジアを中心とした海外合弁会社からの利益も増加する見通しのため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたします。

## 2. 期末配当予想の修正

### (1) 期末配当予想の修正の内容

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	36円00銭	70円00銭
今回修正予想	—	49円90銭	83円90銭
当期実績	34円00銭	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	30円00銭	38円00銭	68円00銭

### (2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営上の重要な課題であると認識しており、利益剰余金の配当につきましては、将来の事業展開に備え、財務体質をいっそう強化するために必要な内部留保を確保しながら、継続的、安定的な配当を実施することを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安として配当に充てる方針としております。

当期の配当につきましては、アジア地区の半導体・液晶市場向けおよび表面処理装置市場向けの好調な売上や製品の競争力向上などにより業績が、当初業績予想を上回ったこと等から、上記配当方針を踏まえ、配当性向30.0%の年間83円90銭と決議いたしました。

なお、期末配当金につきましては、平成30年6月開催予定の当社第63期定時株主総会に付議いたします。

## 3. 特別損失及び営業費用の計上について

### (1) 特別損失及び営業費用の内容、発生理由

研究開発施設である技術センター新社屋の竣工により、従来使用していた社屋（固定資産）の解体により、平成30年3月期連結決算において特別損失として建物解体費用引当金繰入14百万円を計上いたします。また、解体の伴い固定資産（技術センター社屋）の資産除去債務等の追加計上により営業費用を13百万円計上いたします。

### (2) 業績に与える影響

上記特別損失、営業費用は「1. 業績予想の修正」に織込んでおります。

(注) 予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上